

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 8日更新

事務事業名		鍼灸費助成事業（国保特会）			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸		所属部	健康福祉部	課長名	中嶋 繁之
	施策	6	健康づくりの推進		所属課	健康ほけん課	担当者名	福泉 優菜
	業務分野	21	病気になるらない生活習慣の確立		所属班	保険年金班	(内線)	1188
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	
		国保	6	1	2	10363	合志市国民健康保険はり・きゆう施術利用規則	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 18 年度） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（～ 年度）		

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	国民健康保険加入の一世帯あたり年間30枚を限度とし、申請に基づき交付する事業である。合志市指定施術所のみ対象となり、1回当たり1,000円を補助する。保健事業の一つとして、新市発足時から実施している。（旧町時代2町とも実施）。平成20年度より後期高齢者医療制度の創設に伴い、国民健康保険から後期高齢者医療制度に移行された分、国保からの負担が減った。 令和6年度より事業名称を鍼灸費助成事業（国保特会）へ変更。
---	---

【業務の流れ】	被保険者が申請し、過去の交付実績や納税状況を調べ利用券を印刷し交付する。
---------	--------------------------------------

【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
----------	------------

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績	申請者に補助券を交付し、指定施術所からの請求に応じ支払った。 R7.3月末時点 1,035件 1,035,000円
----------------	--

②7年度計画（次年度に計画している主な内容）	③予算の主な増減の理由
前年度と同様。	被保険者数の減に伴う負担金の減

成果指標	(単位)	データ取得方法
ア 鍼灸券使用枚数	枚	

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア	枚	1,366	1,007	1,370	1,035	1,383	1,383	1,390	0
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	1,414	1,044	1,356	1,035	1,077	1,077	1,077	1,077
	(A) 事業費計	千円	1,414	1,044	1,356	1,035	1,077	1,077	1,077	1,077

(3)評価の総括（成果向上の余地・事業費削減の余地）	利用券の発行・施術所への支払いを問題なく処理できた。 1世帯当たり鍼灸券の発行数を30→20枚へ変更することを検討中。
----------------------------	--

(4)今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）
--------------	---